



# UP DATE



## ◆第19回アンクルモール協会総会を開く

アンクルモール協会（香西慧会長）は2月23日東京都新宿区のセンチュリーハイアット東京で第19回定時総会を開き平成17年度事業計画などを決議した。

今年度の事業計画では工事の実態調査を実施し更なる工法の改善，また周辺機器の開発検討を進めていくこと。積算資料は国土交通省の積算基準に合わせた改訂を実施すること。下水道事業，推進工法などに関する講演会や研修会など積極的に開催すること。下水道展に出展することなどを決議した。

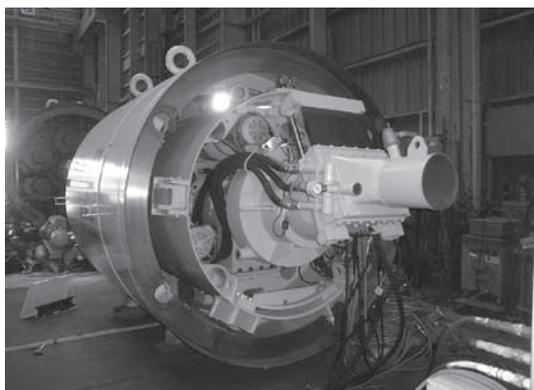
総会終了後，懇親会では香西会長から「レキや玉石対応に昨年現場に投入したφ250の推進機の更なる普及に努める」と挨拶され，これまで300～1500mmで行ってき同工法と市場の拡大に努めることを表明した。



懇親会であいさつに立つ香西会長

## ◆スーパー 21協会が発足

当協会会員のスーパーミニ工法協会が3月1日，20周年を期にスーパーエル工法，やどかり君工法，管被



やどかり君（後部）

膜推進工法の3工法を協会に取り入れ，スーパー 21協会を発足し，新たなスタートを切った。

スーパー 21協会では，小口径から3500mmの超大口径推進機までのラインナップをそろえることで，施工条件の幅を広げることが可能となり，会員各社の更なる発展を目標としている。

会員は正会員64社，賛助会員24社の88社が加入している。

## ◆コマツがスリムアーク工法を開発

このほどコマツが小口径推進スリムアーク工法（機種名：TA500）を開発。同工法は，φ2000の円形立坑からφ250，300のヒューム管で長距離曲線推進工事を可能にした。土質は，新バキューム排土方式・先導体駆動方式方式により粘性土から滞水砂層，砂礫，玉石，転石，岩盤にも対応。新電磁波計測方法により，R100mの複合曲線推進も可能にした。

また，正会員11社，賛助会員1社の12社でスリムアーク工法協会も発足した。



スリムアーク工法機（機種名：TA500）

## ◆「建設の施工企画」誌でHDD（誘導式水平ドリル）工法が紹介される

（社）日本建設機械化協会発行の月刊誌「建設の施工企画」の平成16年12月号において新技術・新工法特集でJSTTが工法普及に努めているHDD工法が紹介された。

和田事務局長により，「HDDは世界で最も多く採用されている非開削工法である。わが国でもガス業界を

始め既に500kmにもおよぶ施工実績があるが、日本のHDDマーケットはまだまだ拡大することが見込まれるためJSTTでは更なる普及支援を継続する。」と寄稿している。



記事が記載された「建設の施工企画」

### ◆環境新聞で「座談会・地下パイプラインを支える非開削技術」が掲載

環境新聞平成17年2月23日発行の特別企画として「地下パイプラインを支える非開削技術」をテーマに座談会の様子が掲載された。

出席者には上下水道、電力、ガス、通信業から中村啓氏（岐阜県笠松町技監）、塩治幸男氏（東京電力地中送電グループ課長）、田中悦郎氏（東京ガスパイプライン技術センター課長）、山口茂氏（NTTアクセスシステムサービス研究所）と進行役に和田事務局長の5名。

掘削土量が少なく、交通渋滞も少ないなど環境負荷の低い技術として関心が高まりつつある非開削工法であることから、各業態での非開削技術の活用状況や環境負荷の関係などについての議論が紹介されている。



環境新聞

### ◆第35回JSTT理事会を開催

平成17年3月8日当協会会議室にて第35回理事会を開催した。

はじめに1号議案として事務局から会員の入退会の状況について昨年度の253件から1件増の254件との報告。続いて2号議案では平成16年度事業報告（案）及び決算（予測）に関する報告があった。新規事業として工法ナビゲーションの運営としてはサイト掲載工法の範囲拡大のため改築推進、小型立坑およびHDD広報に関連した資料収集に努めたこと。HDD（誘導式水平ドリル）工法普及戦略検討会については工法普及のためのパンフレットの制作し技術・積算資料の作成作業を進めていることが報告された。

最後に第3号議案として平成17年度事業計画（案）および事業予算（案）を報告があった。国際交流事業の拡充として例年通りNo-Dig2005ロッテルダム国際会議への参加と日本からの論文発表者に対する支援、また、海外からの非開削技術調査団の積極的な受け入れを図り、それを機に会員相互の技術交流に努めることが報告された。また、研究事業では非開削技術講演会と非開削技術研究発表会について、参加費を非会員は例年通り有料とするものの、会員については無料にする方針とした。委員会活動については、HDD工法普及戦略検討会の活動はあらたにHDD委員会の設置し活動を継承することを方向づけされた。

出版事業では、本誌No-Dig Today配布数を法人正会員1級は現在の1冊から4冊に、同2級は1冊から2冊に増刷し機関誌の効用の拡大を図ることになった。

工法ナビゲーション事業においては、現在運営している「推進工法編」に改築推進工法とHDD工法を追加し内容の充実を図ることが報告され、「管路更生技術編」の事業化に取り組むことも報告された。



理事会の様子